

© International Baccalaureate Organization 2024

All rights reserved. No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without the prior written permission from the IB. Additionally, the license tied with this product prohibits use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, whether fee-covered or not, is prohibited and is a criminal offense.

More information on how to request written permission in the form of a license can be obtained from <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organisation du Baccalauréat International 2024

Tous droits réservés. Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite préalable de l'IB. De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, moyennant paiement ou non, est interdite et constitue une infraction pénale.

Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour obtenir une autorisation écrite sous la forme d'une licence, rendez-vous à l'adresse <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organización del Bachillerato Internacional, 2024

Todos los derechos reservados. No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin la previa autorización por escrito del IB. Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales—, ya sea incluido en tasas o no, está prohibido y constituye un delito.

En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una autorización por escrito en forma de licencia: <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

**Japanese A: literature – Standard level – Paper 1**  
**Japonais A : littérature – Niveau moyen – Épreuve 1**  
**Japonés A: Literatura – Nivel Medio – Prueba 1**

24 April 2024 / 24 avril 2024 / 24 de abril de 2024

Zone A afternoon	Zone B afternoon	Zone C afternoon
Zone A après-midi	Zone B après-midi	Zone C après-midi
Zona A tarde	Zona B tarde	Zona C tarde

1 h 15 m

---

**Instructions to candidates**

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Write a guided analysis of text 1 or text 2.
- Use the guiding question or propose an alternative technical or formal aspect of the text to focus your analysis.
- The maximum mark for this examination paper is **[20 marks]**.

**Instructions destinées aux candidats**

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Rédigez une analyse dirigée du texte 1 ou du texte 2.
- Utilisez la question d'orientation ou proposez une autre manière d'aborder le texte en choisissant un aspect technique ou formel sur lequel concentrer votre analyse.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est de **[20 points]**.

**Instrucciones para los alumnos**

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Escriba un análisis guiado del texto 1 o del texto 2.
- Utilice la pregunta de orientación o proponga otro aspecto técnico o formal del texto en el que centrar su análisis.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es **[20 puntos]**.

次の課題文の1つを選択し、その設問に対する分析を書きなさい。

1. 次のテキストは坂手洋二による戯曲『屋根裏』からの抜粋で、不登校の少女の家を学級担任が訪ねる場面である。

先生 いいの。私もまだ思春期。  
少女 よく言うよ。

25 先生 誰か言ってた。現代の若者は二十歳で思春期、三十歳で成人する。  
少女 三十一つてるじゃない。

先生 最近熟睡できないの。寝ててもさ、担架で救急車乗せられて、ずっと運ばれてる感じ。  
少女 ほんとなの。先生よく保健室で寝てるって噂。  
先生 ほんとよ。もう駄目なの私。自信ない。最低。

30 少女 そんなこと。  
先生 そんなことあるの、ないの。

少女 ……ないです。  
先生 もつとはつきり言つてよ。そうじゃないって。  
少女 ……。

35 先生 私だつていじめられてるのよ。いじめは子供の世界だけだと思つう？  
少女 私別にいじめられてないもん。

先生 いじめられてるのよ！ごまかさなで！女の子にゴリラつて渾名あだなつけるのがいじめじゃないって何なの。

少女 ……それゴリラかわいそう。  
先生 先生の世界でもいじめが起きてるの。校長は私の提出書類、絶対やり直しさせるんだから。

\* 内申 ……内々に申し述べること、またその書類。この場合は、入学志願者の出身校から、その者の成績等を志望校に書き送ること、またその書面を指す。

- 先生 ……じゃどうして学校来ないの。
- 少女 ひきこもりつてコトバあるのわかるけど、私は違う。学校きらいなの。だから行かない。それだけ。
- 先生 大人は休めないのよ、そんなふうには。
- 少女 大人になったら許してもらえないことなら、今したっていいじゃない。このまま行かずじまいでも親と学校の協議で卒業の形とれるでしょ。義務教育だもん。
- 先生 なんて知ってるの。
- 少女 インターネット引けばなんでもわかる。内申<sup>ないしん</sup>上手<sup>\*</sup>に書いてくれたら受験もクリア。
- 先生 ……部活は。天文部だっけ。
- 少女 部員三人しかない。
- 先生 かわいそうじゃない。あとの二人。
- 少女 どうせ星見えないもん、東京。
- 先生 友達とおしゃべりしたくない？
- 少女 (パソコンを示し) いっぱいしてる。オトナ多いし、携帯で無駄話するより安上がり。私、基本的に一人でいるほうが楽なの。それだけ。
- 先生 ……よそじゃ言えないけど、私もそう。
- 少女 なに。
- 先生 一人が好きなの。受験勉強でずっとこもっているときが一番幸せだった。
- 少女 一番。
- 先生 そう。
- 少女 成長しろよ。そこから。

- この場面で、少女と先生との関係はどのように表現され、また変化していますか。

2. 次のテキストは、種村季弘による随筆「読まないことの擁護」からの抜粋である。

25

30

35

このように人は、本を読まなくても何かを読まないわけにはいかない。それに本を読むことと、本ではないものを読むこととの間を殊更に区別しなかつたその昔もあつた。両者とも同一の作業だったのである。ドイツ語の読む(Lesen)という語は、本を読むことであると同時に、収穫物をえり分け摘み集めること、自然の産物を拾い集めることをも意味する。ワインならたとえばシュペートレー、ゼというのは、熟れ切るまでわざわざ葡萄を摘み残し、晩く摘んだ(シュペートレーゼン)ものを醸成して独特の甘味を出す酒であるのは、どなたもご存知だろう。

このように事物を読む対象とすれば、読むことは、あるものと他のものとの差異を識別し、同種のものとは類似を通じて採集し異種のものとは分別して、分類整理し、一見渾沌たる事物の世界に博物学的秩序をもたらす作業である。一方、本を読むこともまた、書かれた言葉を相手にして同じ作業をおこなうことを意味するだろう。本を読むとき、私たちはただのつべらぼうに字面を追っているのではない。言葉と言葉との対応関係を追い、文脈を探つて文意を読み取るのである。

- 1 導師：人を正しい道に導く者の通称。仏教の教えを説く者。
- 2 先覚：人より先に物事の道理を見抜いた人
- 3 れいれいしく：人目につくように派手にかざりたてるさま
- 4 オイディーポスとスフィンクス：ギリシャ神話の登場人物。英雄オイディーポスがスフィンクスから与えられた謎を解く。
- 5 イニシエーション：通過儀礼

5 書物を書き読むことも自然学の読みと原理的には変りはない。たとえば高度の認識に達した導師<sup>1</sup>はその認識を口伝なり文書なりとして弟子たちに遺す。しかしその場合、秘密が重大であればそれだけ、秘密を発見した先覚<sup>2</sup>は秘密をこれ見よがしにれいれいしく<sup>3</sup>誇示したりはしない。悪心ある者に悪用されることをおそれて、あたかもどこにも秘密などは隠されてい  
ないかのように隠すのである。弟子たちを信頼しないから隠すのではない。信頼しているか  
ら隠すのである。どんなに隠しても探し出すにちがいないと確信しているからこそ、どう探  
しても見つからないように先師は隠す。

10 現代の文章家の書いた文章についても同じことが言えるだろう。一般に安手の文章家ほど、  
妙に力んでこれ見よがしに、おのれの発見をいたるところにギラギラと突出させたりするも  
のだ。一方、すぐれた文章家は、何も書いていないようにさり気なく発見を隠す。それだけ  
読者を信頼しているからである。

15 ことほど左様に、本を読もうが読ままいが、人は読まないでは生きてゆけない。読まなけ  
れば、とはつまり読んで現象に条理<sup>4</sup>を立てなければ、たちまち黑白<sup>あやめ</sup>もわかたぬ渾沌<sup>こんとん</sup>のなかへ  
突き落され、呑み込まれてしまうからだ。

20 渾沌を読んで首尾よくぐり抜けるか、それとも渾沌の手前であえなく潰えるか。オイ  
デーポスとスフィンクスとの間の謎掛<sup>4</sup>け謎解きの戦いが、その消息を如実に物語っている。  
女面獣身、背には鳥の翼を生やして、鳥も人間も獣もと、何もかもごたまぜにしたような、  
渾沌そのものであるスフィンクスが、断崖の縁にたたずむオイデーポスに謎を掛ける。謎  
が解けなければ、オイデーポスは断崖から突き落されてしまうのである。断崖からどこへ  
突き落されるか。渾沌のなかへ。ということは、渾沌そのものであるスフィンクスのなかへ  
と呑み込まれてしまうのである。オイデーポスは、ここでスフィンクスという渾沌を読み、  
首尾よく渾沌に条理の目鼻をつけ、渾沌を読み抜いてはじめて、イニシエーション<sup>5</sup>を通過し  
て次なる道程に出てゆくことができる。

- 作者は、具体例をどのように使用して主張を展開していますか。

**Disclaimer/Avertissement/Advertencia:**

Content used in IB assessments is taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and/or publishers and do not necessarily reflect the views of the IB.

Le contenu utilisé dans les évaluations de l'IB est extrait de sources authentiques issues de tierces parties. Les avis qui y sont exprimés appartiennent à leurs auteurs et/ou éditeurs, et ne reflètent pas nécessairement ceux de l'IB.

Los contenidos usados en las evaluaciones del IB provienen de fuentes externas auténticas. Las opiniones expresadas en ellos pertenecen a sus autores y/o editores, y no reflejan necesariamente las del IB.

**References/Références/Referencias:**

1. 坂手洋二, 2007. 『屋根裏』 Tokyo: 早川書房. Pp. 142–144. Source adapted.
2. 種村季弘, 1988. 「読まないことの擁護」 『日本の名随筆36 読』 5th ed. Tokyo: 筑摩書房. Pp. 221–222. Source adapted.